

令和2年度LGBT等の性の多様性について知り、 考えるイベント企画・運営業務 開催報告

～ 国内外でアワードに輝いた名作漫画『弟の夫』に見る「アライになるということ」～

開催日時： 2021年1月19日 18:30-19:30

開催方法： ZOOM Webinarにてオンライン配信

視聴人数： 113人

企画内容：
・ご挨拶
・『弟の夫』の内容を紹介
・田亀先生へのインタビュー
・参加者からの質問への応答
・総論：アライになるためには

登壇者： 田亀源五郎氏（『弟の夫』作者）
エスムラルダ氏（ドラッグクイーン:司会）



弟の夫とは

田亀源五郎氏の漫画『弟の夫』は、第19回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞、第47回日本漫画家協会賞優秀賞、第30回アイズナー賞最優秀アジア作品（Best U.S. Edition of International Material - Asia）」最優秀賞受賞など多くの賞に輝いている名作です。2018年にはNHKでドラマ化され、話題を呼びました。

弥一は、子どもの頃からずっと生活を共にしていたリョージからある日、ゲイだというカミングアウトを受け、「そうか」とは言ったものの、以降そのことには触れませんでした。二人の間には、なんとなく距離が生まれたまま。そして、リョージがカナダに渡り、結婚したということは知っていましたが、突然亡くなって、結婚相手だという（ゲイの）カナダ人がやって来ることになって、どう対応していいのかわからず戸惑うばかりでした。弥一が頭の中で考える（実行には移さない）同性愛嫌悪的なリアクションは、とてもリアルです。

一方、そんな弥一とは対照的に、突然「叔父」が、しかもカナダ人の「叔父」ができたことに夏菜ちゃんは大喜び。いっぺんにマイクのことを大好きになります。マイクも夏菜ちゃんと意気投合し、仲良く遊んであげます。

娘の夏菜が素直にマイクを歓迎し、ごく自然に「男どうして結婚できる」ということも受け入れます。そして、「いとこの〇〇さんはうちに泊めたのに、マイクは泊めないの?」と言ったことに対し、弥一は反論することができず、次第にマイクをもてなすようになっていきます。そうした弥一の変化の一つひとつが、当事者にとってはうれしく、弥一とカナダから来たクマみたいなゲイのマイクがそうやって理解しあい、絆を深めていく姿は感動的です。



イベントの目的

この作品では、同性愛に偏見や嫌悪感を持っていた男性が、弟と結婚していたカナダ人男性と交流するなかで次第に心を通わせ、「家族」になっていく様が描かれています。この作品に描かれた、主人公の弥一が、偏見や嫌悪を克服してアライになっていく過程について、田亀先生ご本人にご登壇いただき、皆様に、多様性について知り、考えて頂く機会を目的としています。

トークショー内容

司会のエスムラルダ氏から田亀先生にお聞きするかたちでのトーク形式で進行いたしました。

弟の夫を執筆した経緯

この作品を構想していた時代は、海外で同性婚やパートナーシップ制度が制定され始めた頃ですが、日本のメディアでは大きく取り上げられていませんでした。そして、日本では身近に性的マイノリティの存在を認識していない方々がまだまだ多かったです。ただ、同性婚の話題をTwitterで流したところ、思いのほか、当事者以外の方々からの反応が大きかった事に気づきました。よって、この漫画を出す事により、逆に変な先入観や偏見を持たれないようにするために、内容は当事者以外の方々に身近に感じていただける環境設定にしました。

作品を通じて伝えたかった事

私は日々の生活の中で、「性的マイノリティやシングルファーザーへの世間の眼」や、「結婚すれば全て幸せである」「異性の親同士でないと家族がつかれない」というような、もしかすると受け取り方によっては偏見ともとれるような言葉を聞く事があったため、この作品を通じて、それらを少しでも無くせればという強い思いがありました。

したがって、漫画の主人公をシングルファーザーの男性で、（一番身近な他人である）双子の弟を海外で外国人と同性婚したという設定にし、幸せなゲイカップルと離婚したことによってかえって関係性の良くなった異性カップルの対比、性的マイノリティのプライドとシングルファーザーのプライドの対比など、バランスを考えた構成で、常に視点の偏りが無いよう気を付けていました。

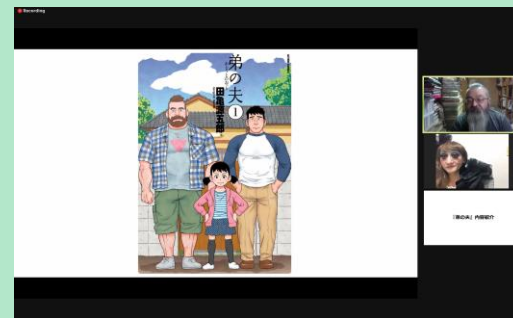
また、この作品が設定や内容が少し変わった形でテレビ化されましたが、より多くの方々に伝えられ、「感動した」という意見を多数頂き、少しでも思いが通じた実感できました。

アライになるためには

当事者の方々の気持ちを全て理解するのは、実際には不可能である事から、「相手に対して自分自身がどう思っているのか、どう反応しているのか」を知る、これこそがダイバーシティ（多様性）を理解する事の第一歩ではないかと思えます。

最後に

どんなことがあっても自分は自分の味方である事、自分自身を嫌いにならない、否定しない事という自己肯定を持って生きていく事が大切です。



視聴者からの感想（抜粋）

・LGBT関連のセミナーでは、なかなか聞けない変わった趣向のイベントで、1時間があっという間でした。田亀先生のお話は、アライに関する本質についていて感心致しました。

・とても楽しいイベントで、あっという間の1時間だった。もう少し長く、聴いていたかったくらいだ。「アライ」や「弟の夫」は今回の企画で初めて知ることができた。これからも見聞が広がるような企画を期待しています。オンラインは気軽に参加できるので、とてもいい。

・当事者の方を理解することこそがアライになるために必要なことだと思込んでいましたが、まずは自分自身が実際にどういった反応をするのか、バイアスについての理解を深めるというお話をお聞きし、大変感銘を受けました。実際に当事者の方とお話する機会はないですが、メディア等で間接的に触れることはできると思いますので、積極的に触れていこうと思いました。